

2012年



# ふそう

発行: 扶桑町議会  
編集: 議会だより編集委員会  
〒480-0102  
愛知県丹羽郡扶桑町  
大字高雄字大道330  
TEL: 0587-93-1111  
FAX: 0587-92-1381  
E-mail: gikai\_sc@town.fuso.lg.jp  
発行日: 平成24年8月1日

議会だより

第210号



七夕まつり（高雄保育園）

## 6月定例会

- 6月定例会の概要 ..... 2P
- 委員会の審議から ..... 3P
- 一般質問 ..... 4P～10P

# 中島、南定松コミュニティに助成金

## 備品等の購入にそれぞれ250万円補助

### 6月定例会の概要

平成24年6月定例会は、4日から19日まで開催されました。  
今回の定例会では、一般会計補正予算・特別会計補正予算を始め、条例の改正や陳情など25案件の審議を行いました。

#### 一般会計補正予算

一般会計補正予算は、

人件費の精査などにより、歳入歳出それぞれ2711万円を追加し、総額86億3687万円となっています。主な内容は、次のとおりです。

なお、採決の結果、賛成全員で可決しました。

#### 主な事業

(万円未満切り捨て)

地域自治振興費

500万円

自治総合センターコミュニティ助成事業(宝くじ助成金)を受け中島、南定松コミュニティの備品等の購入に対し補助をします。

庁舎営繕費

96万円

庁舎2階男子トイレ修



障害者通所施設建設用地(高雄字堂子地内)

繕等を行います。  
中学校教員補助者派遣事業費

123万円

扶桑北中学校で、3年生の平均学級人数が36人を超えたため、少人数指導者を増員します。  
土地購入費

1109万円

障害者通所施設建設用地として高雄字堂子80番地1の町有地を土地取得  
特別会計から会計移管します。

#### 請願・陳情の結果

消費増税に反対する意見書の提出を求める請願

「賛成2人反対13人  
で不採択」

最低賃金の引き上げ、公契約条例の制定など働く者の権利を守り、公務・公共サービスの充実、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情書

「賛成0人反対13人  
棄権2人で不採択」

すべての高齢者に月額3・3万円の年金を支給するよう国への意見書提出を求める陳情書

「賛成2人反対13人  
で不採択」

年金2・5%の削減をやめるよう国への意見書提出を求める陳情書

「賛成2人反対13人  
で不採択」

年金支給開始年齢の引き上げをやめるよう国への意見書提出を求める陳情書

「賛成2人反対13人  
で不採択」

年金受給資格期間を短縮するよう国への意見書提出を求める陳情書

「賛成2人反対13人  
で不採択」

#### 工事請負契約の締結

柏森小学校校舎改修工事  
請負金額

1億3991万2500円

完了年月日

平成25年1月31日

請負契約者

榊原建設株式会社

契約の方法

12名の制限付一般競争入札

「賛成全員で可決」



文化会館空調設備改修工事

請負金額

6300万円

完了年月日

平成25年2月1日

請負契約者

シブヤパイピング工業株式会社

契約の方法

5名の制限付一般競争入札

「賛成13人反対2人  
で可決」



文化会館で行われた町制施行60周年記念事業「なんでも鑑定団」の収録

# 委員会の審議から

## 総務文教常任委員会

**問** 自治総合センターコミュニティ助成事業（宝くじ助成金）で現在、扶桑町にはコミュニティは何地区設立されているか。助成を受けるのは何巡目か。

**答** 24地区あり、助成を受けるのは3巡目に入っている。

**問** 柏森小学校改修工事の主な内容は。

**答** 外壁のひび割れ、塗装のはがれ補修、窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る。全教室のインターホン、校内放送アンテナ、給水設備の取替え。トイレの全面改修等を行う。

**問** 文化会館空調設備改修工事について指名競争入札は8名と要綱にあるが5名であった。参加する業者の数について検討する必要があるのでは。

## 福祉建設常任委員会

**答** 町ホームページ、建通新聞等に掲載したが業者の関心が低かったと思われる。他市町・県の状況を聞いて業者指名審査会で協議して行く。

**問** 文化会館において、これまでの音響、照明改修工事の費用は。

**答** 平成21年度の舞台音響改修工事に約4100万円。23年度の舞台照明改修工事に約1億1970万円。

**問** 生活保護に関して相談等の状況は。

**答** 平成23年度末の生活保護者数は被保護世帯数が83世帯、被保護者数134人。相談件数は56件。

**問** 相談のケースは。

**答** 平成20年度以前は高齢者、障害者の方だった。最近は母子世帯、離職に伴う相談が増加している。



大規模改修工事が行われる柏森小学校

**問** 精神障害者に関して早期発見、早期治療が重要と思うが。

**答** 可能な限り早い段階での療育、福祉サービスの利用相談に努める。

**問** 都市マスタープランにおける青木川沿いの都市公園整備計画は。

**答** 柏森字長畑地内で現在計画をしている。

**問** 川沿いでもあり、防災機能を備えた公園整備を計画しているのか。

**答** 浸水対策などの防災機能を含めた公園を考えている。

**問** 国民健康保険特別会計の平成23年度収支は。

**答** 歳入は33億6057万円。歳出は31億4498万円。

**問** 公共下水道事業特別会計補正予算の国庫交付金が1300万円減額となっているが。

**答** 東日本大震災の復興、今後の津波対策、地震対策が優先になり配分が減額された。

## お知らせ

| 9月定例会の日程(予定日) |                 |
|---------------|-----------------|
| 9月3日(月)       | 開会              |
| 9月7日(金)       | 一般質問            |
| 9月10日(月)      | 一般質問            |
| 9月11日(火)      | 議案質疑            |
| 9月12日(水)      | 議案質疑            |
| 9月13日(木)      | 議案質疑            |
| 9月18日(火)      | 福祉建設常任委員会(福祉関係) |
| 9月19日(水)      | 福祉建設常任委員会(建設関係) |
| 9月20日(木)      | 総務文教常任委員会       |
| 9月26日(水)      | 委員長報告・討論・採決・閉会  |

あなたも議会を  
傍聴してみませんか  
定例会は来月  
9月です

詳しくは議会事務局まで  
TEL 93-1111 内線322

### 「会議録検索システム」インターネット配信

扶桑町ホームページで議会会議録をインターネット配信していますので、ご利用ください。

扶桑町役場  
ホームページ

町議会  
↓  
会議録検索



公共下水道パンフレット

**問** 下水道計画区域、認可区域、供用開始面積は。

**答** 下水道計画区域796ha、事業認可区域223・1ha、平成23年度末の供用開始区域約174ha。

### 5月臨時会を開催

5月22日(火)に臨時会を開催し、人事案件のほか、一般会計補正予算、条例の一部改正など9議案を可決しました。

# 緑地公園に新設トイレ設置を



公明党  
佐藤智恵子 議員

## 答 水道設備がなく難しい

**問** 緑地公園内の案内看板やベンチが壊れたままになっている。整備、拡充はできないか。

**答** 案内看板、壊れたベンチについては、他の老朽化している施設も併せて修繕、準備をしている。

**問** 既設トイレの水洗化と山那のサイクリングロード付近にトイレの新設ができないか。

**答** 河川区域内であり、国の様々な規制がある。山那のサイクリングロード付近は水道設備がないため、新設することは難しい。

既存のトイレについては設置から10年以上経過しているので、維持管理をしながら最新で、より清潔感のある簡易水洗トイレを調査研究していきたい。

## 通学路の総点検の必要性

**問** 全国各地で起きている通学路での事故を踏ま



木曽川扶桑緑地公園

え、危険な通学路がないか、総点検の必要性があるのではないか。

**答** 今回、教育委員会では各小中学校に緊急点検の要請をし、点検の結果を踏まえ、犬山警察、学校、行政と合同で危険箇所、点検を行う予定。

地域、学校、保護者との関係を密にしながら安全確保に努める。

## 学童保育の延長は

**問** 学童保育は保育園より開設時間が短いので送迎に支障がある。同様の時間開設ができないか。

**答** 利用状況を踏まえ、アンケートを実施する。その結果を検証し決定していく。

## 非構造部材の耐震点検、対策の実施は

**問** 町内の避難所施設と

なる学校施設の耐震化は済んでいるが、天井や照明器具、外壁、内壁等いわゆる非構造部材の点検は実施しているか。

**答** 第一段階として平成17年度までに全耐震化が完了している。

現在、小中学校の校舎の外壁、屋上、トイレの大規模改修を行っており、終わりに次ぎ、体育館の大規模改修工事を予定している。非構造部材の点検も併せて実施する予定。



山名小学校の通学路となっている県道小淵江南線

# 健康高齢社会に向けて住環境整備の支援・ 「住宅リフォーム助成」を



民主党  
矢嶋恵美 議員

**答** 高齢化の認識のもとに、具体的課題としていく

**問** 超高齢化時代を迎え高齢化率も県平均より高く、本町は持ち家率93・3%で全国及び愛知県平均の20%も上回っている。元気に自立した高齢化社会を生きていくためにも居住環境の整備は重要である。現在本町の住宅関連助成事業は種々あるが、誰もが受けられる制度か、改修等の助成はあるが、所得制限や条件等もあり、誰もが制限もなく受けられる助成制度はない。

**問** 国の住宅投資活性化の支援策は。

**答** 居住する環境整備を促進し内需拡大を図る支援策、中古住宅リフォームトータルプランをまとめ住宅エコポイント導入や所得税、固定資産税、等々税制特例等住み替えや住宅の質の向上やリフォームに手を出しやすい環境の推進支援策がある。

**問** 住宅リフォーム助成



大口町コミュニティバス（柏森駅）

の全国自治体の状況と本町の支援策の考えは。

**答** 全国自治体の住宅関連支援制度状況は1742市町村の内1505が実施。本町は今後において高齢化に進んでいる認識のもとにその方向で具体的課題としていく。

**問** コミュニティバス、周辺市町の連携と展開は

**答** 県内周辺市町のバス事業の施行状況は。隣接市町では犬山、

江南、小牧、大口、豊山で実施。岩倉は調査事業開始。

**問** 国の「地域公共交通活性化補助事業」もあり、他の地域は進んでいる。本町も江南厚生病院・駅など広域への整備がいる。今後の展開は。

**答** 現在、小牧、岩倉、豊山、大口、扶桑の2市3町の公共交通問題で、部会を立ち上げ検討を始めている。

**問** リサイクル拠点（エコハウス）推進は

**答** 2年前に開設した現有施設の現状と動向は。4月の議員全員協議会で旧学校給食共同調理場跡地利用はリサイクルセンターへの方向を示したが、今後の展開は。

**問** 現施設の利用者は年間6508名、一日平均20人程度の利用。年々利用者が増加。跡地利用でのエコハウスは幾つかの課題があるが、その方向

性を持っている。

**問** 二期制導入の検証は

**答** 2学期制導入から7年経過し、どのような学校作りを目指しその成果は。関係者の評価・検証はされたか。今後の継続の検討は。学校と保護者の信頼関係を親密に。

**問** 2学期制になったことで時間数の確保ができた。平成23年度で比べると30時間も多くなり、よきめ細かい指導ができてきている。その都度、行事の見直しなどを改善してきた。意識調査はしていないが、確かな学力をつけるためにも今後しばらくは必要と考える。

**問** 高齢者の活躍の場政策

**答** 地域に潜在している「担い手」活動の推進策が必要と考えるが。

**問** 社会参加・社会貢献活動は高齢者に限らず他の年代にも関わることが施策としても重要。

# 節電の夏に向けて

## 答 身近な節電対策を呼びかける



桑政クラブ  
新井三郎 議員

**問** 昨年につき、泊原発停止によって今年も中電管内は5%の節電要請。町としては、どのような節電協力か。

**答** 地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>を削減するために冷暖房の温度を原則夏季28℃に設定を徹底し、併せて6月から服装による対応「フールビズ」を推奨する。また、家庭でも緑のカーテンで快適に過ごせる工夫や環境のためにも無駄な電気の使用を控え、家電の待機電力削減など呼びかけをするよう広報に掲載し、町民にお願いする。

平成22年度からCO<sub>2</sub>の発生抑制効果が大きい自然エネルギー利用の促進を図っており、太陽光発電補助及び太陽熱温水器補助を実施している。太陽光発電を取り入れることにより自然と節電意識が高まり、積極的に節電に心がけて頂けるものと期待している。

環境省では平成15年より地球温暖化防止のため、ライトアップ施設の消灯を呼びかける「CO<sub>2</sub>削減…ライトダウンキャンペーン」を実施。町民にも取り組みの趣旨に理解を頂き、施設や事業所、家庭など一斉に電気を消す「七タライトダウン」に協力を頂く。

身近な地球温暖化防止について話し合いをして頂くよう、7月広報で呼びかける。



役場も緑のカーテンを実施

**問** 河川、用水路の浸水対策は。

**答** 用水路の整備については、小渕排水路および般若用水路は、県営畑地帯総合整備事業にて下流である江南市より順次整備を進め、小渕排水路については平成19年度に完成。また、般若用水路については今年度、畑地帯総合整備事業般若2期地区として、扶桑町内の下流である小渕排水路の合流点から旭有機材工業

(株)内を施工し、誠信高校北側を通り、県道斎藤羽黒線付近まで整備する。平成27年度までに整備完了予定。また、(仮)高木調節池も平成25年度には着工。一方、丹羽用水路については住宅団地の中を流れていることから困難な状況。現在改修計画はなく、より良い方策を探っていく。

町内の幹線用水路の雑草の草刈りは春と秋の2回実施。用排水敷きに雑草が生い茂げらないよう管理に努めていく。

**問** 道路標示(横断歩道)の整備は。

**答** 車両などの通行による摩耗等を受けて、削り取られ視認が低下している。定期的に機能維持に努めているがローテーション以外の箇所においても特に危険な箇所については適宜補修を実施している。今後引き続き良好な交通安全施設の維持に努める。



日本共産党  
高木義道 議員

# 高齢者の移動手段をどう考える

**答** 町内循環バスは考えていない

## 巡回バスの運行実現へ

**問** 高齢化が進む中で高齢者の活動範囲の拡大、より便利な移動手段の確保についてどう考えるか。

**答** 本町内には交通空白は無いと考える。住民にはバスを停留所で待つという考えはなく、町内循環のバスは考えていない。  
**問** 「車を運転できない住民の増加に対応するために持続性の高い公共交通システムの構築を目指し住民の移動ニーズにマッチした形態を研究する」と都市マスタープランにあるが、研究は進んでいるか。

**答** 2市3町（小牧市、岩倉市、豊山町、大口町、扶桑町）で広域の公共交通の研究を始めたところである。住民の意向調査も踏まえ考えていく。

## 児童館の建設に向けて

**問** せめて児童館をつくって子育て支援をするべきだと思うが、拠点作

りについてどう考えるか。

**答** 母親間の交流や異年齢間の交流など他市町において子育ての輪を広げる児童館の実態を調査、研究していきたい。

## 空き家等の適正な管理を

**問** 空き地や老朽家屋の雑草等についての苦情の状況は。どのような処理を実施しているのか。

**答** 平成23年度は36件の苦情が寄せられ、町の条例に基づいて19件の処理をした。雑草の繁茂で周辺の住居の方に迷惑をかけているということで行った。

**問** 老朽家屋、空き家等の適正管理を行うために他自治体はどんなことをしているか。町として条例制定の意向はあるか。

**答** 岐阜県飛騨市で廃屋の対策条例、三重県名張市が空き家等の適正管理に関する条例を施行している。放置された空き家等の外壁の落下・倒壊・

犯罪・火災の防止のため

に条例が施行されている。現在は条例の制定を考えていないが、対象物の増加が考えられ、研究していく。

## 側溝整備を速やかに

**問** 側溝整備の要望についてどのような状況か。予算を増やして地域要望に因應すべきではないか。

**答** 平成20・21年度の要望に対して34・1%、平成22・23年度は21・2%の達成率である。町道253kmの両側の側溝整備は50%である。快適な生

活基盤整備のために計画的に進めたい。

## 原発の再稼働は許さない

**問** 大飯原発の再稼働に躍起になる野田首相、腰砕けの関西広域連合。原発再稼働をどう考えるか。

**答** 停電による住民生活、医療、経済活動のリスクが大きいという判断ではないか。

**問** 福島県の惨状から人命の軽視ではないか。  
**答** 事故の教訓を深刻に捉えて対策を講じること



側溝整備の様子（南山名地内）

# ごみ処理施設は平成30年度に稼働できないのでは



日本共産党  
小林 明 議員

## 答 地元同意のために誠心誠意努力

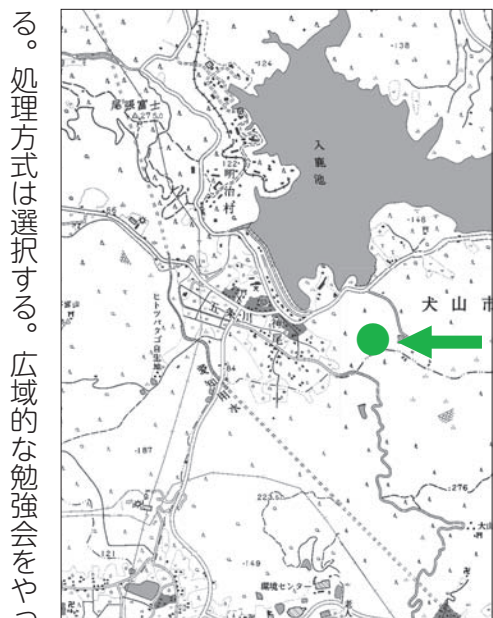
**問** 30年度に稼働できない場合の責任は

**答** 江南市長と犬山市長は新聞報道をみていると、互いに水のかけ合いをしているようだ。候補地となっている地元の了解も取れず、環境アセスメントを考えれば、時間的に30年度に稼働は無理だ。責任は誰が取るのか。

**答** 30年度稼働に向け、ブロック会議の意思に沿って地元同意を得るために、誠心誠意努力する以外にない。責任問題は現時点では念頭にはないが、ブロックとして責任を負わなければならないと思う。

**問** 大型焼却炉の見直しを

**答** 計画では発電施設も設置する大型焼却炉での処理なっているが、ごみを必要量確保しなければならぬ。これでは、ごみの減量に逆行する。見直しが必要ではないか。  
**答** 減量して施設をつく



新ごみ処理施設候補地

**問** リサイクルセンターの建設は

**答** 旧学校給食調理場跡地利用として、リサイクルセンター建設を検討しているが、その気がないから課題を解決しないのではないか。

**答** 課題整理をしており、環境基本計画の中期目標として計画している。

**問** 江南厚生病院までの巡回バス運行を

**答** 大町と話をすることになっているが。  
**答** 小牧・岩倉・扶桑・大町・豊山の2市3町で

**問** 全くズサンな宅地開発事前協議

**答** 南山名地内で敷地面積を1000㎡以下にするために土地を分筆し、26・87㎡を事前に町に寄附をしたことは事前協議逃れをしているのではないか。

**答** 26・87㎡はセットバックした土地で、1000㎡以下になった。

**問** まともに事前協議もしないとは

**答** 柏森前屋敷の集合住宅の事前協議は全くいい

加減だ。町の提示したことはすべて拒否され、協議にもなっていない。

**答** 目隠しの必要性は代理人にも話したが実現しなかった。

**問** 地元議員への説明が必要なのに行われていない。こんなことを町は認めている。町長はどう考えるか。

**答** 申し訳ない。お詫び申し上げます。

**問** 議会無視の請願の処理

**答** 平成23年12月議会で採択された「放課後児童クラブ」の改善を求める請願の処理は。

**答** 放課後児童クラブの保護者にアンケートを取るようになっている。

**問** 項目の中で公共の場を確保してくださいということは、児童館を建設すれば解決するのではないか。

**答** 頭の隅に置いている。全く考えていないわけではない。



桑政クラブ

千田勝隆 議員

# 江戸町長 2 期 8 年の総括は

**答** 安全安心で快適なまちづくりに努めてきた

## 行財政改革について

**問** 平成24年3月議会で

総務部長は、臨時財政対策債は交付税制度で返済が担保されていると回答している。不交付団体の自治体と合併した際、そ

**問** 町長に就任され、総合計画や集中改革プランの策定、さらには企業誘致策の検討とその具体化など、様々な分野の諸施策を推進されたが、この8年間の総括と、今後の行政運営について聞く。

**答** 平成17年4月に役場が変わる宣言でスタートし、19年3月に役場の組織機構を改編し、集中改革プランに基づき、既存事業の見直しを行ない、安全安心で快適なまちづくりに努めてきた。

総合計画の中間見直しによる今後のまちづくり報告を精査し、自治基本条例（仮称）や今後のまちの姿についての検討と議論を行っていく。

の返済はどうなるのか。

**答** 不交付団体と合併した場合も返済は必要となる。合併後の市町村に交付すべき普通交付税の額は、合併年度とこれに続く5年度については、合併以前の合計額を下回らないように算定することとし、その後5年度については、激変緩和期間とされ措置される。

**問** 新集中改革プラン「職員及び給与の適正管理の取り組み」について

定員配置とはどういうもので、この2年間にどのように取り組まれたか。職員数の適正化を図るとは何が適正で、何人位が適正と考えているのか。

**答** 業務の見直しや指定管理等の導入を推進しながら、職員数の目標を22名とし、退職者の4分の3補充などにより削減を進め、経費の縮小に取り組んでいる。当面は、現在の人数程度を基本に行政運営を行いたい。

**問** 平成22年度から24年度の取り組みに対する効果額、4億3600万円の積算根拠は。

**答** 平成22年度は地域手当削減分の1億2000万円。23年度は地域手当削減分と退職者4人と新規採用4人の給与差額2400万円、あわせて1億4400万円。24年度は、地域手当削減分と退職者4人と新規採用3人の給与差額1億7200万円となり、3力年の合計金額が4億3600万円である。

**問** 特定の職員への負担軽減と業務内容の見直しによる効率化、平準化を目指しているが、平成22年度と23年度を比較して時間外勤務の総額と多い職員と少ない職員の差はどう変化したのか。

**答** 平成22年度の総額は4673万4000円で、最多職員は915時間、最少職員は0時間。23年度の総額は3145万9000円で、最多職員は731時間（速報値のため多少の誤差有）最少職員は0時間。



役場総務部政策調整課・総務課

# 大規模災害時における 災害弱者の支援は



桑政クラブ  
梅村治男 議員

**答** 今後も登録者（災害時要援護者）の増加に努める

**問** 災害時要援護者支援制度の概要と登録状況は。  
**答** ひとり暮らし高齢者や障害者など、災害発生時に自力で情報収集や避難することが困難で地域の支援が必要となる方をあらかじめ把握する制度。登録者は、平成24年4月1日現在、101件。  
**問** 登録者を増やしていくための働きかけは。  
**答** 駐在員会議、自主防災会議の場や広報紙などで周知に努めている。  
今後は、民生委員会議などでの積極的なお願いと制度啓発を庁内関係課と連携して行う。

**問** 想定される大規模地震の発生に向け、住民記録情報の提供をどのように考えているのか。  
**答** 町駐在員設置規則に基づき月2回、世帯主名と住所、世帯の増減情報等を提供している。電話番号、世帯の人数や生年月日などは個人情報関係から提供していない。  
**問** 緊急連絡シートの配付は、超高齢化社会に即した取り組みで評価するが、社会情勢や災害時の対応から、単身世帯や各家庭への配付を段階的に拡充できないか。  
**答** ひとり暮らしと高齢者のみの世帯へ見守りや支援の一つとして配付を計画した。かかりつけの医療機関や緊急時の関係



緊急連絡シート

本人、家族の了承の下に、連絡先などを記入した用紙を、マグネット付のソフケースに入れて冷蔵庫などに貼り付け、緊急時に役立てるもの。  
配付先の拡充は、町民全体の課題として重要であるため、今後、研究していきたい。  
**問** 町内の街頭犯罪の特性は。  
**答** 平成24年1月から4月までの犯罪発生件数の総数は116件、23年比24件の増加である。24年

1月には、住宅侵入盗が8件、車の部品狙いが5件発生した。24年4月には、自販機狙いが11件発生するなど、今後の警戒が必要。  
町では、犯罪抑止のため、広報無線での注意喚起、青色パトロール車による巡回を実施している。  
**問** 市街化調整区域に街路灯を充実できないか。  
**答** 通行量の少ない地区への設置は十分でないと考えている。今後も、地域住民からの要望を聞き、住宅地内の危険な箇所には街路灯を設置していきたい。  
**問** 現在の街路灯を維持管理や維持費の観点からLEDに切換えられないか。  
**答** LED化は、平成23年度から開始した。今後も新規設置は勿論のこと、既設の老朽化した街路灯は、費用対効果を検証しながらLED化を図る。